

緩和ケアチームニュース

様子がおかしい・・・それは薬剤性錐体外路症状かも？

〇〇さん、最近笑顔が少ないな。
目に力も無いし・・・うつ病かしら？



ちょっと待って！それは
薬剤性錐体外路症状かもしれません

✓ このような症状はありませんか？



焦り・不安・不眠・
じっとしてられない



震えがある



動かない・無表情

以下の質問をしてみましょう

「**胸がザワザワ**したり、じっとして
られない感じはないですか？」
「**足がソワソワ**しませんか？」

上記に該当

アカシジア？

(不安・焦燥感や下肢の不随意運動など)

①表情を見てみましょう

瞬きが少ない(30秒～1分/回)や
表情に違和感はありませんか？

②眉間を軽く叩いてみましょう

瞬きが続く⇒マイヤーソン徴候陽性

上記に該当

パーキンソニズム？

(振戦、筋固縮、動作緩慢、仮面様顔貌、
嚥下障害、流涎など)

✓ これらの薬が処方されていませんか？

当センター採用薬で錐体外路症状の原因となることが多い薬剤は主に以下の通りです。
その他の抗精神病薬、制吐剤でも起こる場合がありますので、**持参薬にも注意が必要です。**



オランザピンOD錠 2.5mg / 5mg



ノバミン錠 5mg



プリンペラン錠 5
プリンペラン 10mg



リスパダールOD錠 1mg / 2mg
(一般名：リスペリドン錠)



ドグマチール錠 50mg
(一般名：スルピリド錠)



ハロペリドール錠 0.75mg
ハロペリドール注 5mg

被疑薬の中止をご検討ください